

埼玉県立自然の博物館 特別展

秩父鉱山の 面影



写真撮影 品川正氏

ニッチツが所蔵した

希代の鉱物標本群

令和7年

3月8日(土)～
6月15日(日)

【開館時間】 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【休館日】 毎週月曜日(祝日及びGW期間中の月曜日は開館)

【観覧料】 大人200円(120円)

高校生・大学生100円(60円)

* ()内は20名以上の団体料金

* 中学生以下、障害者手帳等お持ちの方と
その介助者1名は無料

【電話】 0494-66-0404

【協力】 株式会社ニッチツ

埼玉県立 自然の博物館

彩の国
埼玉県
埼玉県マスコット
コナンをさがせ

特別展 秩父鉱山の 面影

～ニッチツが所蔵した希代の鉱物標本群～

令和7年
3月8日[土]～6月15日[日]

かつて日本有数の鉄山であった「秩父鉱山」。鉄をはじめ、金、亜鉛、銅、鉛、マンガンなど多様な金属の産出で知られるこの鉱山は、美しい鉱物結晶を産出する日本有数の鉱山としても知られています。鉱山事務所には、鉱山で採掘された日本でも指折りの鉱石・鉱物が収蔵され、鉱山地質を学ぶ場として、あるいは鉱山の威容を示す標本として、鉱山を訪れる来賓や研究者に公開されていました。

金属鉱石の採掘終了後、珪石及び石灰石の採掘を続けていましたが、令和4年9月には石灰石の採掘を終え、鉱山事業を終了しました。鉱山事業の整理に伴い、事務所に保管されていた有数の鉱物標本は、「秩父の宝は地元に残したい」という関係者の意向により、埼玉県立自然の博物館に寄贈されました。本展示では、これまでは非公開だった希代の鉱物標本群を、一堂に公開します。また、秩父鉱山の歴史を、豊富な写真資料から振り返ります。

【ミュージアムトーク：展示解説】

学芸員が展示の見どころを解説します。(予約不要)

日程 3月16日(日)・4月30日(水)・6月8日(日)

場所 13:30～(約30分) 場所 当館2階 企画展示室

参加費 無料(ただし要観覧料)

埼玉県立 自然の博物館

TEL 0494-66-0404

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1

公式HP: <https://shizen.spec.ed.jp>

公式X: @saitama_shizen

(旧ツイッター)



アクセス: 秩父鉄道 上長瀬駅より徒歩5分

関越自動車道 花園ICより秩父方面へ自動車です30分



写真の説明

- ① (株)ニッチツ 旧秩父事業所の標本室内(註:見学者の受入れは行っていません)
②毛鉱(赤岩鉱床) ③黄銅鉱・閃亜鉛鉱(大黒鉱床) ④硫砒鉄鉱
⑤黄鉄鉱(大黒鉱床) ⑥黄鉄鉱(赤岩鉱床) ⑦赤鉄鉱 ⑧褐鉄鉱
⑨自然金(大黒鉱床) ⑩車骨鉱(大黒鉱床)